工事成績考查項目別運用表

【土木・土木設備・水道工事】

(検査職員 用)

尾張旭市

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象 工種	a	b	c	d	e		
			他の項目に該当しない						
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	対象工種	<p><評価基準></p> <p>a：該当項目が90%以上</p> <p>b：該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c：該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d：該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 最初に「評価対象工種」が左上①～③のいずれに該当するかを検討し、評価対象工種欄チェックボックスへ、評価すべき1つの工種についてのみチェックする。続いて、下段以降の評価すべき工種（「※チェック対象」と紫色の字で表記されたもの）についてのみ評価する。</p> <p>(2) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(3) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>(4) 評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 評価値（工種別共）%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(5) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p> <p>※ 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。</p>				☐ 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 契約約款第18条第2項に基づき、監督職員が改造請求を行った。	
		① 一般土木工事							☐
		② 機械設備工事	☐						
		③ 電気設備工事、 通信・弱電・ その他類似工事	☐						
		評価値	—						
	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）					
	I. 出来形	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <p>1. 築造物の機能、性能が設計図書・仕様書の定めた事項を満足している。</p> <p>2. 出来形成果表（出来形成果総括表、測定結果総括表、測定結果一覧表）が出来形管理基準により作成され、適切であることが確認できる。</p> <p>3. 出来形図が出来形管理基準により作成され、適切であることが確認できる。</p> <p>4. 出来形管理図表が作成され、適切であることが確認できる。 ※測定数が15点以上の場合に評価対象項目とする。</p> <p>5. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>6. 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>7. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 ※施工計画書にて社内管理基準が明記されているか。</p> <p>8. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>9. その他</p> <p>理由：</p> <hr/>					
	① 一般土木工事	☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		集計							
		工種別評価値	—						

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象 工種	a	a'	b	b'	c	d	e
			品質が測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書による改善指示を行った。	契約約款第18条に基づき、監督職員が改造請求を行った。	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	対象工種	評価対象工種名称	直工費又は按分比率	工種（評価）割合	割合×工種別評価値			
		①	☐	コンクリート構造物工事					
		②	☐	土工事（切土・盛土・築堤等工事）					
		③	☐	二次製品構造物工事					
		④	☐	鋼橋工事					
		⑤	☐	塗装工事					
		⑥	☐	護岸・根固・水制工事					
		⑦	☐	コンクリート橋工事					
		⑧	☐	舗装工事（改良系）					
		⑨	☐	舗装工事（修繕系）					
		⑩	☐	法面工事					
		⑪	☐	植栽工事					
		⑫	☐	建築工事（土木関連）					
		⑬	☐	標識・区画線設置工事・防護柵					
		⑭	☐	浚渫・覆砂工事					
		⑮	☐	基礎工事					
		⑯	☐	仮設工事					
		⑰	☐	下水道工事					
		⑱	☐	電線共同溝工事					
		⑲	☐	維持工事（清掃、付属物、除雪、応急処理）					
		⑳	☐	修繕工事（橋脚補強、耐震補強、落橋防止）					
		㉑	☐	機械設備工事					
		㉒	☐	電気設備工事					
		㉓	☐	通信・弱電・その他類似工事					
		㉔	☐	上水道工事					
		㉕	☐	上記以外の工事又は合併工事					
		評価値	<留意事項>						
		—	<p>(1) 始めに「評価対象工種」が左上①～㉕のいずれに該当するかを検討し、評価対象工種欄チェックボックスへ、評価すべき工種についてチェックする。原則として主たる工種を特定して採点とするが、小規模、多工種等で特定が困難な場合は、最大3工種に絞って評定できるものとする（その際、⑲⑳以外でチェックした工種毎に「直工費又は按分比率（概数で可）」欄にも入力のこと）。続いて、次のシート（「-1」～「-25」）以降の評価すべき工種（シートに「※チェック対象」と紫字で表記するもの）について評価する。なお、⑲又は㉒を選択する場合は、各々の評価結果が直接、当該工事の品質評価となる。</p> <p>(2) ⑲⑳を除く各々の評価対象工種において、評価対象項目数が2項目以下の工種はc評価となるため、当該工種の評価値は70%として加重平均に加算する。</p> <p>※1 各評価対象項目が、当該工事の評価内容に該当するか否かをよく吟味し、評価すること。</p> <p>※2 工事成績採点基準にかかる表の工種に合致しない工事の場合は、「㉕ 上記以外の工事又は合併工事」の欄で採点する。</p>						

<評価基準 ※①～⑱ および ㉑～㉕ >
a : 該当項目が95%以上 a' : 該当項目が90%以上95%未満
b : 該当項目が85%以上90%未満 b' : 該当項目が80%以上85%未満
c : 該当項目が60%以上80%未満
d : 該当項目が60%未満

注 「品質」の評価において、⑲⑳を除く複数の工種を評定する場合は、対象工種毎の加重平均により算出するものとし、次の式による。

評価値 (%) = {工種別の評価値 (対象工種毎の (評価数 / 評価対象項目数) × 100) × 対象割合} の合計値※

※合計値は、小数第一位を四捨五入し、整数とする。

<判断基準 ※⑲⑳のみ >
a : 該当項目が5項目以上
b : 該当項目が3項目以上
c : 該当項目が2項目以下

注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。但し、評価対象項目は最大8項目とする。

注 評価対象工種⑲及び㉒については単独の評価とし、他の評価対象項目とは重複評価できないものとする。よって、⑲及び㉒同士も重複評価はできない。

考査項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考査項目	細 別	評価対象		評価	評価対象項目（工種別）
		対象	評価		
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ① コンクリート 構造物工事	☐	☐	<p><評価対象項目></p> <p>1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 ※◎マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、◎マーク取得工場であっても JIS A5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。</p> <p>2. コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、気温、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>3. 圧縮試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</p> <p>5. 型枠・支保材が十分な強度と安全性を持っており、締め付け確認や剥離剤の塗布などが行われ、打設中の管理が適切である。</p> <p>6. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>7. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>8. 鉄筋の規格・品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>9. コンクリート打設までにどろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>10. 鉄筋の加工及び組立、かぶりが設計図書の仕様を満足していることが確認でき、鉄筋固定方法が適切である。 ※鉄筋交差部が強固に結束され、結束線がかぶりに入らないように内側に折り込まれているか 等。</p> <p>11. 溶接・圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>12. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足し、気候等に応じ適切に行われていることが確認できる。（日数、方法等）</p> <p>13. スパースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>14. セパレータ部の処理が適切に実施されている。</p> <p>15. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づき、適切な処置を行っている。</p> <p>16. その他 :理由:</p> <hr/>	
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
		☐	☐		
				<p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p>	
	集計				
	工種別評価値				
	—				
					<p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ② 土工事 （切土・盛土・築堤等工事）	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施工に先立ち適切に丁張を設置し、また施工中にも適宜点検し精度の向上及び変状の発見に努めている。 2. 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。（作業終了・中断時含む） 3. 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 4. 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 5. 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 6. 一層当たりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 7. 芝付け及び種子吹付けを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 8. 構造物周辺の締め固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 9. 土羽土の土質が適正な土質で行っていることが確認できる。 10. 品質管理に必要な各種試験を行い、適切な施工がされていることが確認できる。 11. 法面に有害な亀裂が無い。クラックや損傷部が無い。 12. 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 13. その他 理由： _____ <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
集計				
工種別評価値				
—				

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質			
	③ 二次製品構造物工事	対象	評価	<p><評価対象項目【共通】></p>
		☐	☐	1. 仕様書に定められている品質管理が実施されている。
		☐	☐	2. 材料の品質規格証明書が整備されている。
		☐	☐	3. JIS規格外品について、仕様書で規定する規格、品質を満足している。
		☐	☐	4. 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。
		☐	☐	5. 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。
		☐	☐	6. 土留め、ウェルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。
		☐	☐	7. 製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。
		☐	☐	8. 敷モルタルが適切に施工されている。
		☐	☐	<p>< // 【擁壁類（補強土擁壁は除く）】 ></p>
		☐	☐	9. 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。
		☐	☐	10. 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。
		☐	☐	11. 材料の接続または、かみ合わせが適切でズレがなく、接続部からの土砂流出防止がなされている。
		☐	☐	12. 端部における地山とのすりつけが適切である。
		☐	☐	13. 丁張りを2重3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のために細心の注意をはらっている。
		☐	☐	14. コンクリート擁壁工の施工にあたり、コンクリートの配合、練り混ぜ、打ち込み、締め固め及び養生が適切に行われている。
		☐	☐	15. その他
		理由： _____		
		☐	☐	<p>< // 【用排水路・その他】 ></p>
		☐	☐	16. 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。
		☐	☐	17. 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締め固めが特に入念に行われている。
		☐	☐	18. 呑口、吐口、集水樹等の取付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。
		☐	☐	19. 施設の流末は浸食、滞留が生じないよう処理されている。
		☐	☐	20. 不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。
		☐	☐	21. 継目地の目地モルタル・パッキン等が適切に施工されている。
		☐	☐	22. 製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。
		☐	☐	23. その他
		理由： _____		
		☐	☐	<p>< // 【遊具等施設関係（遊具、健康器具、ベンチ、四阿等） ></p>
		☐	☐	24. 設計図書に基づき現場確認を行い、周辺も含めた利用動線に配慮し配置を決定している。
		☐	☐	25. 部材の組立て及び建込みにおいて、組立手順書を基に安全性を重視して施工されている。
		☐	☐	26. 部材固定に使用するボルト、ナット類は、緩みがないよう十分締め付けられている。
		☐	☐	27. 支柱等の重要部材地際部において、有効な防食措置や必要な土被り厚を確保していることが確認できる。
		☐	☐	28. 施設毎に設定された安全領域を確保していることが写真で確認でき、領域内の障害物等が除去されている。また、落下対策を施した場合は、設置面の衝撃吸収性能を評価し、測定値が基準を満足している。
		☐	☐	29. 組立完了後において、安全に関する基準への適合検査を実施している記録がある。

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ③ 二次製品構造物工事	☐	☐	<p>30. 施設の施工に際し、修景要素に配慮している。</p> <p>31. その他 理由： _____</p> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%） = （評価数 / 評価対象項目数） × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
集計				
工種別評価値		—		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ④ 鋼橋工事 （RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる。）	対象	評価	<p><評価対象項目【工場製作関係】></p> <ol style="list-style-type: none"> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 孔開けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに制作していることが確認できる。 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 検査路、落橋防止装置、配水管等の付属物のめっき、防食、塗装が適切であることが確認できる。 その他 <p>理由： _____</p>
				<p>< " 【架設関係】 ></p> <ol style="list-style-type: none"> クレーン、バントなどの設置位置における地盤支持力を確認している。 ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 ボルトのセットを適切に管理・保管しており、出荷時の品質が施工時まで保たれていることが確認できる。 支承及び支承受付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。 支承の据付で、コンクリート面のチッピングと、仕上げ面の水切勾配がついていることが確認できる。 沓座モルタルの材料・施工が適切である。（無収縮モルタルを使用、打設前に座面を湿潤状態にし、また確実に充填されるよう注意している） 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 架設に用いる仮設備及び架設用機械について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。※架設計画書等による確認。 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 伸縮装置の据付は、温度補正を行って位置を決定している。 その他 <p>理由： _____</p>
				<p><評価基準></p> <p>a：該当項目が90%以上</p> <p>b：該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c：該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d：該当項目が60%未満</p>
		集計		
		工種別評価値		
		—		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p>	<p>II. 品質 ④ 鋼橋工事 （RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる。）</p>			<p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質			
	⑤ 塗装工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 塗装作業にあたり塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。 3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定をおこない、塗装作業を行っていることが確認できる。 4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 5. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油膜等を除去し塗装を行なっていることが確認できる。 6. 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 7. 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 8. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 9. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 10. その他 <p>:理由:</p> <hr/>
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質 ⑥ 護岸・根固・ 水制工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 2. 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 3. 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 4. 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5. 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び、水密性を確保していることが確認できる。 6. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9. 使用材料の品質が証明書類で確認できる。 10. 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 11. コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 12. 施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水は、排除して施工していることが確認できる。 13. 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14. 有害なクラックが無い。 15. 丁張りを2重3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のために細心の注意を払っている。 16. その他 <p>:理由:</p> <hr/> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
	集計			
	工種別評価値			
	—			

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質			
	⑦ コンクリート橋工事（PC及びRCを対象）	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。※㊟マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、㊟マーク取得工場であっても JIS A5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が適切に行われている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。 鉄筋の規格・品質が証明書類で確認できる。 鉄筋の加工及び組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 溶接・圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 プレビーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。 装置（機器）のキャリブレーションが実施されている。 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。 プレストレス時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。 プレキャストブロックの損傷対策が適切である。※取卸し時において、ブロック接合面等を十分保護している。 プレキャストブロックの接続施工が適切である。 クラックが無い。クラックがある場合であっても、進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては専門業者等の意見に基づく適切な処置を行っている。 支承及び支承取付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。 杓座モルタルの材料・施工が適切である。（無収縮モルタルを使用、打設前に座面を湿潤状態にし、また確実に充填されるよう注意している。） 伸縮装置の据付は、湿度補正を行って位置を決定している。 その他
				<p>:理由:</p> <hr/> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p>
		集計		
		工種別評価値		
		—		

考查項目別運用表（土木工事編）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ⑦ コンクリート橋工事 （PC及びRCを対象）			(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質			
	⑧ 舗装工事（改良系）	対象	評価	<p><評価対象項目【路床・路盤工関係】></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施工に伴い、CBR試験、平板載荷試験及び安定処理の配合試験等を実施し、適切な舗装設計の基礎資料収集を行っている。 2. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 3. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 4. 路床安定処理において、添加材の材質・数量及び混合深さが確認でき、混合むらが無く均一であることが確認できる。 5. 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 6. 使用材料が分離しておらず、仕上げ面が均一である。 7. 路床・路盤工のブルフローリングを行い、ローラマークが無いことが確認できる。 8. 路床・路盤工において現場密度や含水比等の管理を行い、適切な品質であることが確認できる。 9. その他 <p>理由： _____</p>
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	<p><評価対象項目【アスファルト舗装工関係】></p> <ol style="list-style-type: none"> 10. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。（アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く。） 11. 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 12. 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 13. 舗設後、交通開放を適切に行っている。 14. 舗装の各層の継ぎ目が標準仕様書に定められた数値以上ずらしている。 15. 目地の処理が標準仕様書に定められた通りであることが確認できる。 16. 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締め固め等）の配置が行われている。 17. プライムコート、タックコートが均一に施工され散布量が確認できる写真、資料がある。 18. プライムコート、タックコートが、既設舗装断面及び隣接構造物側面に塗布されていることが確認できる。 19. 初期・二次・仕上げ転圧が適切に行われている。 20. 基準密度等の管理がされており品質の確認ができる。 21. 縦、横断段差処理を適切に行っていることが確認できる。 22. 仮区画線の施工が施工計画書のとおり適切に施工されたことが確認できる。 23. 路面切削において施工計画と施工結果が整合しており、資料で確認できる。 24. 切削後の路面管理が舗設まで適切に管理された。 25. その他 <p>理由： _____</p>
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	<p>< // 【コンクリート舗装工関係】 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 26. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。※㊟マークを取得していない工場で製造されたコンクリートや、㊟マーク取得工場であっても JIS A5308 以外のレディーミクストコンクリートを用いる場合に評価対象とする。 27. 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 28. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 29. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 30. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている。 31. 材料が分離しないようコンクリートを敷き均している。
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ⑧ 舗装工事 （改良系）	☐	☐	<p>32. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。</p> <p>33. 目地の設置位置・構造が適正であることが確認できる。</p> <p>34. その他 理由： _____</p> <p>< " 【共通】 ></p> <p>35. 区画線、標識、防護柵等交通安全施設の施工管理資料が整備されており、品質の確認ができる。</p> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
集計				
工種別評価値				
—				

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）						
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質 ⑨ 舗装工事 (修繕系)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">工種別評価値</td> </tr> <tr> <td colspan="2">—</td> </tr> </table>			工種別評価値		—			<p>b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
工種別評価値										
—										

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ⑩ 法面工事	☐	☐	<p>31. 枠内に空隙が無いことや、中詰め材が沈下・流出していないことが確認できる。</p> <p>32. 層間に剥離が無いことが確認できる。</p> <p>33. 跳ね返り材料が適切に処理されている。</p> <p>34. その他</p> <p>理由： _____</p> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
集計				
工種別評価値		—		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ① 植栽工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施し施工に反映している。 2. 施肥・かん水等、活着管理が適切に行われている。 3. 樹木等に損傷、はちくずれ等が無く保護養生が適切に行われている。 4. 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 5. 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 6. 植栽する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り、植穴底部を耕していることが確認できる。 7. 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されている。 8. 樹木、地被類、つる性植物等には樹幹の割れ、病害虫などが無いことが確認できると共に、仕様書に基づいた植え付けが適切になされている。 9. 埋戻土が設計図書に基づいた性状であり、小石・ごみ・雑草・夾雑物を含まない適切なものであることが確認できる。 10. 支柱・添え木をぐらつかないように設置していることが確認できる。 11. その他 理由： _____ <p><評価基準></p> <p>a：該当項目が90%以上 b：該当項目が80%以上90%未満 c：該当項目が60%以上80%未満 d：該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
		集計		
		工種別評価値	—	

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）														
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ⑫ 建築工事 （土木関連）	<table border="1"> <tr><th>対象</th><th>評価</th></tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td></tr> </table>	対象	評価	☐		<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。 2. 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。 3. 機器等（設備等）の機能が設計図書等との適切性が確認でき、証明書が整備されている。 4. 躯体の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき、建造物の品質が確保されている。 5. 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され良質な施工が伺える。 6. その他 <p>理由： _____</p> <p><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> a：該当項目が90%以上 b：該当項目が80%以上90%未満 c：該当項目が60%以上80%未満 d：該当項目が60%未満 <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値％は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 											
対象	評価																	
☐	☐																	
☐	☐																	
☐	☐																	
☐	☐																	
☐	☐																	
☐	☐																	
		<table border="1"> <tr><th>集計</th></tr> <tr><td></td></tr> <tr><th>工種別評価値</th></tr> <tr><td>—</td></tr> </table>	集計		工種別評価値	—												
集計																		
工種別評価値																		
—																		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質			
	⑬ 標識・区画線 設置工事・ 防護柵（網）	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置要綱、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の床掘りの仕上り面において、地山の乱れや不陸が生じないよう施工していることが確認できる。 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面への影響が無いよう施工していることが確認できる。 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 その他
		☐	☐	理由：
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		<		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び	II. 品質			
出来ばえ	⑭ 浚渫・覆砂工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 着手前の測定の記録・保存が適正である。 2. 施工前、施工中の水象・気象の資料が整備されている。 3. 土砂量の検収・計測が的確に行われている。 4. 機械の選定及び組み合わせが適切である。 5. 周辺環境に配慮し、水質汚濁防止・水質監視等が行われている。 6. 浚渫高さ（覆砂厚）、すりつけが規格値内に納まる仕上がりである。 7. 覆砂の品質資料が適切に整理されている。 8. その他 <p>理由： _____</p>
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ⑮ 基礎工事 （地盤改良等を含む）			<p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値％は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ⑩ 仮設工工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用材料の品質確認資料が整理されている。 2. 運搬・保管状態が適切で、使用材料のそり・ゆがみ・傷等が無い。 3. 組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。 4. 溶接工の技量が確認でき、溶接作業環境が適切である。 5. 継杭・継矢板における溶接の品質管理に関して、組立・加工精度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. 腹起しの設置状況が適切である。（施工にあたり、受け金物、吊りワイヤ等によって支持し、また矢板と十分密着させている。） 7. 控え板・タイロッドの取り付け状況が適切である。 8. 周辺環境（騒音・振動・地盤変動等）に配慮した施工方法で実施している。 9. 施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。 10. 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。 11. その他 <p>理由： _____</p> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値％は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
		集計		
		工種別評価値	—	

考查項目別運用表（土木工事編）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）				
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ⑰ 下水道工事	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>集計</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td>工種別評価値</td></tr> <tr><td>—</td></tr> </table>	集計		工種別評価値	—		<p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値％は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
集計								
工種別評価値								
—								

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	⑩ 電線共同溝工事		
		対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録されていることが確認できる。 特殊部の施工基面の支持力が均等となるように、かつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 特殊部の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 その他 <p>理由： _____</p>
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（監督職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																								
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ⑩ 維持工事 （清掃工、付属物工、除雪、応急処理等）	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 3. 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 4. 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <p>5. :理由： _____</p> <p>6. :理由： _____</p> <p>7. :理由： _____</p> <p>8. :理由： _____</p> <p><判断基準></p> <p>a : 該当項目が5項目以上 b : 該当項目が3項目以上 c : 該当項目が2項目以下</p> <p><留意事項></p> <p>記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。但し、評価対象項目は最大8項目とする。</p>																								
				<table border="1" data-bbox="421 252 539 454"> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="421 486 539 523"> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="421 555 539 592"> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="421 624 539 660"> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="421 756 539 890"> <tr> <td colspan="2">集計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">工種別評定</td> </tr> <tr> <td colspan="2">—</td> </tr> </table>	☐	集計				工種別評定		—																
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
集計																												
工種別評定																												
—																												

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）										
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ② 修繕工事 （橋脚補強、耐震補強、落橋防止等）	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 3. 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 4. 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 <p>5. :理由： _____</p> <p>6. :理由： _____</p> <p>7. :理由： _____</p> <p>8. :理由： _____</p> <p><判断基準></p> <p>a : 該当項目が5項目以上</p> <p>b : 該当項目が3項目以上</p> <p>c : 該当項目が2項目以下</p> <p><留意事項></p> <p>記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。但し、評価対象項目は最大8項目とする。</p>										
				<table border="1" data-bbox="427 252 539 454"> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table>	☐									
☐	☐													
☐	☐													
☐	☐													
☐	☐													
☐	☐													
				<table border="1" data-bbox="427 486 539 529"> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table>	☐	☐								
☐	☐													
				<table border="1" data-bbox="427 555 539 598"> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table>	☐	☐								
☐	☐													
				<table border="1" data-bbox="427 624 539 667"> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table>	☐	☐								
☐	☐													
				<table border="1" data-bbox="427 758 539 890"> <tr> <td colspan="2">集計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">工種別評定</td> </tr> <tr> <td colspan="2">—</td> </tr> </table>	集計				工種別評定		—			
集計														
工種別評定														
—														

考查項目別運用表（土木工事編）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質 ② 機械設備工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。 2. 設備の機能及び性能が、設計・承認図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 3. 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 4. 機器の機能及び性能に係わる成績書が提出され、品質の確認ができる。 5. 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 6. 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 7. 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 8. 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 9. 電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 10. 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 11. 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 12. 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 13. パルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 14. 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 15. 回転部や高温部等の危険箇所に表示または防護をしていることが確認できる。 16. 構造物劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 17. 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 18. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 19. 完成図書・取扱説明書を工夫し作成（改造・更新・修繕の場合は修正）していることが確認できる。※編集手法について評価する。 20. 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。 21. 完成図書・取扱説明書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備している。 22. 完成図書・取扱説明書において、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所について、まとめている。 23. その他 <p>理由： _____</p> <p><評価基準></p> <p>a：該当項目が90%以上 b：該当項目が80%以上90%未満 c：該当項目が60%以上80%未満 d：該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値％は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。
				<p>集計</p>
				<p>工種別評価値</p>
				<p>—</p>

考查項目別運用表（土木工事編）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質 ② 機械設備工事			(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。

考查項目別運用表（土木工事編）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質			
	② 電気設備工事 （照明設備・変 電設備・その他 類似工事含む）	対象	評価	<p><評価対象項目></p>
		☐	☐	1. 製作着手前に、品質や性能の確保にかかる技術検討が実施されていることが確認できる。
		☐	☐	2. 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		☐	☐	3. 溶接・塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥が無く満足している。
		☐	☐	4. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。
		☐	☐	5. 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。
		☐	☐	6. 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。
		☐	☐	7. 操作スイッチや表示灯が設計図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。
		☐	☐	8. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。
		☐	☐	9. 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		☐	☐	10. 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作業が確認できる。
		☐	☐	11. 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
		☐	☐	12. 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。
		☐	☐	13. 完成図書・取扱説明書を工夫し作成（改造・更新・修繕の場合は修正）していることが確認できる。※編集手法について評価する。
		☐	☐	14. 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。
		☐	☐	15. 完成図書・取扱説明書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別でき、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所についてまとめている。
		☐	☐	16. その他
				<p>理由：</p> <hr/>
				<評価基準>
				a : 該当項目が90%以上
				b : 該当項目が80%以上90%未満
				c : 該当項目が60%以上80%未満
				d : 該当項目が60%未満
				<留意事項>
				(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。
				(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。
				(3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値％は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。
				(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。
				集計
				工種別評価値
				—

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質			
	② 通信・弱電・その他類似工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認ができる。 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 溶接・塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥が無く満足している。 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績書等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 設備・機器及び付属物の取り付け等が設計・承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 完成図書・取扱説明書を工夫し作成（改造・更新・修繕の場合は修正）していることが確認できる。※編集手法について評価する。 完成図書・取扱説明書において、設備の機能並びに操作方法が容易に判別できる。 完成図書・取扱説明書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別でき、部品等の点検方法やその時期、交換を要する部品や交換方法及び場所についてまとめている。 その他
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	理由： _____
		集計		<p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p>
		工種別評価値		
		—		<p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ㊸ 上水道工事	対象	評価	<p><評価対象項目【共通】></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 材料の品質規格証明書が整備されている。 2. 使用材料の検収や保管等の管理が適切であり、写真等で明確に確認できる。 3. コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 4. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 5. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレータの機種、養生方法等が適切に行われている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） 6. 施工基盤面が良好であることが確認できる。 7. 管の接合状態が良好であることが確認できる。 8. 耐震管等の接合管理で全口数について継手チェックシートに記録し写真等で確認できる。 9. 布設後の位置を明らかにする出来形図が作成されている。 10. 管切断及び押し口加工が適切に行われていることが確認できる。 11. 管内には土砂、ゴミ等が残っていない。 12. 防食措置が適切に施工され、そのことが容易に工事写真から判断できる。 13. 鉄筋の加工及び組立、かぶり設計図書仕様を満足していることが確認でき、鉄筋固定方法が適切である。 14. スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 15. 型枠、支保工の取り外しが適切に管理されている。 16. 給水管等取付工が、仕様書に基づき適切に施工されていることが確認できる。 <p><評価対象項目【開削工】></p> <ol style="list-style-type: none"> 17. 締固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。 18. 埋め戻し材料の品質が確認できる。 19. アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 20. 管の吊り込み、据付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 21. 埋め戻しの転圧が仕様書どおり施工されている。 22. 掘削時に水替工が適切に実施され、管内が清潔に保たれていることが確認できる。 23. 土留工が適切に実施されていることが確認できる。 24. その他 <p>理由： _____</p> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p>
				<p>_____</p>

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び 出来ばえ	II. 品質 ㊤ 上水道工事			<p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 ㊟ 上記以外の工事又は合併工事	<table border="1"> <tr> <td>対象</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table>	対象	評価	☐	<table border="1"> <tr> <td>集計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工種別評価値</td> <td>—</td> </tr> </table>	集計		工種別評価値	—	<p><評価対象項目></p> <p>1. :理由： _____</p> <p>2. :理由： _____</p> <p>3. :理由： _____</p> <p>4. :理由： _____</p> <p>5. :理由： _____</p> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 主たる工種の考查項目で交差し、最大考查項目は5項目とする。</p> <p>(2) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>									
対象	評価																			
☐	☐																			
☐	☐																			
☐	☐																			
☐	☐																			
☐	☐																			
集計																				
工種別評価値	—																			

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ① コンクリート 構造物工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンクリート構造物の表面状態が良い。 2. コンクリート構造物の通りが良い。 3. 天端、端部等の仕上げが良い。 4. クラック（ヘアクラック含む）がない。 5. 漏水がない。 6. 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
		集計		
		工種別評価値		
		—		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																								
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ② 土工事 （切土・盛土・築堤等工事）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table>	対象	評価	☐	<table border="1"> <thead> <tr> <th>集計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <th>工種別評価値</th> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	集計		工種別評価値	—	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 仕上げが良い。 通りが良い。 天端及び端部の仕上げが良い。 構造物へのすりつけ・とりあいなどが良い。 規定された勾配が確保されている。 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石・木根等が除去されているなど、適切に施工されている。 切土法面勾配の変化部について、緩衝部を設けるなど適切に施工されている。 雨水・湧水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <p>a：該当項目が90%以上 b：該当項目が80%以上90%未満 c：該当項目が60%以上80%未満 d：該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 																	
対象	評価																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
集計																												
工種別評価値																												
—																												

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄			
	③ 二次製品構造物工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 構造物の通りが良い。 2. 材料の連結、かみ合わせが良い。 3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 4. 製品に割れ、欠けがない。 5. 漏水がない。 6. 周辺地形・他構造物等との取り合いが良い。 7. 全体的な美観が良い。
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄え			
	④ 鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる。)	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 表面に補修箇所が無い。 2. 部材表面に傷及び、錆が無い。 3. 溶接に均一性がある。 4. 塗装に均一性がある。 5. 支承部の仕上げが良い。 6. 付属物工取り付けが良い。 7. 全体的な美観が良い。
		集計		<p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p>
		工種別評価値	—	
		—		<p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ⑤ 塗装工事	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="421 256 483 288">対象</th> <th data-bbox="483 256 539 288">評価</th> </tr> <tr> <td data-bbox="421 288 483 320">☐</td> <td data-bbox="483 288 539 320">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="421 320 483 352">☐</td> <td data-bbox="483 320 539 352">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="421 352 483 384">☐</td> <td data-bbox="483 352 539 384">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="421 384 483 416">☐</td> <td data-bbox="483 384 539 416">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="421 416 483 448">☐</td> <td data-bbox="483 416 539 448">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="421 448 483 480">☐</td> <td data-bbox="483 448 539 480">☐</td> </tr> </table>	対象	評価	☐	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="483 592 539 624">集計</th> </tr> <tr> <td data-bbox="483 624 539 655"></td> </tr> <tr> <th data-bbox="483 655 539 687">工種別評価値</th> </tr> <tr> <td data-bbox="483 687 539 719">—</td> </tr> </table>	集計		工種別評価値	—	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 塗装の均一性が良い。 2. 細部まできめ細やかな施工がされている。 3. 補修箇所が無い。 4. ケレンの施工状況が良好である。 5. 周辺の影響が無かった。 6. 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <ol style="list-style-type: none"> a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満 <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 											
対象	評価																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
集計																						
工種別評価値																						
—																						

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄			
	⑥ 護岸・根固・水制工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 通りが良い。 2. 材料のかみ合わせが良い。 3. 天端、端部の仕上げが良い。 4. 既設構造物とのすりつけが良い。 5. クラックがない。 6. 製品に割れ、欠けがない。 7. 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		集計		
		工種別評価値		
		—		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																				
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄え ⑦ コンクリート橋上部工事（PC及びRCを対象）	<table border="1"> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> <tr><td>☐</td><td>☐</td></tr> </table>	対象	評価	☐	<table border="1"> <tr> <th>集計</th> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <th>工種別評価値</th> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> </table>	集計		工種別評価値	—	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンクリート構造物の表面状態が良い。 2. コンクリート構造物の通りが良い。 3. 天端及び端部の仕上げ等が良い。 4. 支承部の仕上げが良い。 5. クラック（ヘアクラック）が無い。 6. 付属物工の取り付けが良い。 7. 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <p>a：該当項目が90%以上 b：該当項目が80%以上90%未満 c：該当項目が60%以上80%未満 d：該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 													
対象	評価																							
☐	☐																							
☐	☐																							
☐	☐																							
☐	☐																							
☐	☐																							
☐	☐																							
☐	☐																							
集計																								
工種別評価値																								
—																								

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）														
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ⑧ 舗装工事（改良系）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table>	対象	評価	☐		<p>1. 舗装の平坦性が良い。 2. 構造物の通りが良い。 3. 端部処理が良い。 4. 構造物へのすりつけ等が良い。 5. 雨水処理が良い。 6. 全体的な美観が良い。</p> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>											
対象	評価																	
☐	☐																	
☐	☐																	
☐	☐																	
☐	☐																	
☐	☐																	
☐	☐																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">集計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">工種別評価値</td> </tr> <tr> <td colspan="2">—</td> </tr> </tbody> </table>	集計				工種別評価値		—									
集計																		
工種別評価値																		
—																		

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）		
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ⑨ 舗装工事 （修繕系）	対象	評価	<p>1. 舗装の平坦性が良い。</p> <p>2. 構造物の通りが良い。</p> <p>3. 端部処理が良い。</p> <p>4. 構造物へのすりつけ等が良い。</p> <p>5. 雨水処理が良い。</p> <p>6. 全体的な美観が良い。</p> <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p> <p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>(3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p> <p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		集計				
		工種別評価値				
		—				

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ⑩ 法面工事	対象	評価	1. 通りが良い。 2. 植生、吹付等の状態が均一である。 3. 発芽・生育状態が良い。 4. 吹き付け表面の割れが無い。 5. 端部処理が良い。 6. コンクリート構造物の表面状態が良い。 7. クラックがない。 8. 全体的な美観が良い。 <評価基準> a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満 <留意事項> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
	集計			
	工種別評価値		—	

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ① 植栽工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table>	対象	評価	☐	<table border="1"> <thead> <tr> <th>集計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <th>工種別評価値</th> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	集計		工種別評価値	—	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 樹木の活着状態が良い。 個々の樹木整姿が良い。 植え付け面の仕上げが良い。 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 支柱の取り付けが堅固である。 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>											
対象	評価																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
集計																						
工種別評価値																						
—																						

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄え ⑫ 建築工事 （土木関連）	対象	評価	1. 建物の通り、形状が良い。 2. 仕上げの均一性、平坦性が良い。 3. 機能面での配慮が適切である。 4. 防水の納まりが良い。 5. 関連工事との取り合いが良い。 6. 全体的な美観が良い。 <評価基準> a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満 <留意事項> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		集計				
		工種別評価値				
		—				

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来栄え			
	⑬ 標識・区画線 設置工事・ 防護柵（網）	対象	評価	<p>【防護柵（網）工事】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 通りが良い。 2. 端部処理が良い。 3. 部材表面に傷及び、錆がない。 4. 既設構造物等とのすりつけが良い。 5. きめ細やかに施工がなされている。 6. 全体的な美観が良い。
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
				<p>【標識工事】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 標識位置に配慮がある。 2. 標識板の向き、並びに角度、及びその支柱の通りが良い。 3. 部材表面に傷及び、錆がない。 4. 標識板の支柱に変色が無い。 5. 支柱基礎工周辺の仕上がりが入念に埋め戻されている。 6. 全体的な美観が良い。
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
				<p>【区画線設置工事】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 塗料の塗布が均一である。 2. 視認性が良い。 3. 接着状態が良い。 4. 施工前の清掃が入念に実施されている。 5. 通りが良い。 6. 全体的な美観が良い。
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
				<p><評価基準></p>
				<p>a : 該当項目が90%以上</p>
				<p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p>
				<p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p>
				<p>d : 該当項目が60%未満</p>
				<p><留意事項></p>
				<p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。</p>
				<p>(2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。</p>
				<p>(3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値％は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。</p>
				<p>(4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
				<p>集計</p>
				<p>工種別評価値</p>
				<p>—</p>

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																				
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄え	⑭ 浚渫・覆砂工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tr><td colspan="2">集計</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td colspan="2">工種別評価値</td></tr> <tr><td colspan="2">—</td></tr> </table>	対象	評価	☐	集計				工種別評価値		—		<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 浚渫・覆砂の全体的な仕上がりが、平均化されている。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 施工の周辺環境への影響は軽微である。 浚渫土の処理が適切である。 浚渫・覆砂の着手・完了時の測量が整備されている。 <p><評価基準></p> <ol style="list-style-type: none"> 該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満 <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 									
対象	評価																							
☐	☐																							
☐	☐																							
☐	☐																							
☐	☐																							
☐	☐																							
集計																								
工種別評価値																								
—																								

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）		
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ⑮ 基礎工事 （地盤改良等 を含む）	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 土工関係の仕上げが良い。 通りが良い。 端部及び天端の仕上げが良い。 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 施工箇所の整理がされている。 <p><評価基準></p> <p>a：該当項目が90%以上 b：該当項目が80%以上90%未満 c：該当項目が60%以上80%未満 d：該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		集計				
		工種別評価値				
		—				

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）		
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ⑩ 仮設工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 鋼矢板・親杭の通りが良い。 覆工板にがたつきがない。 鋼矢板のかみ合わせ等不良部分がない。 床付け面の仕上げがよい。 主・副部材の取り付けが適切である。 施工管理記録などから不可視部分の出来栄の良さがうかがえる。 <p><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> a：該当項目が90%以上 b：該当項目が80%以上90%未満 c：該当項目が60%以上80%未満 d：該当項目が60%未満 <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 		
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		☐	☐			
		集計				
		工種別評価値				
		—				

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄え ⑰ 下水道工事	対象	評価	<p><評価対象項目【共通】></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 通りが良い。 2. 漏水がない。 3. クラックがない。 4. マンホール天端と路面とのすりつけが良い。 5. マンホールのインパートの仕上げが良い。 6. 残土等は適切に処理されている。 <p>< " 【管路】 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 管路の割れ、欠けがない。 8. 継ぎ手面にパッキンの設置が確実になされている。 9. 管路間の目違い、段差が少ない。 10. 管路継ぎ手部ボルトの締め付け状況が良い。 11. 全体的な美観が良い。 <p>< " 【シールド】 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 12. RCセグメントの割れ、欠けがない。 13. 継ぎ手面の防水が確実になされている。 14. セグメント間の目違い、段差が少ない。 15. ボルトの締め付け状況が良い。 16. 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
☐	☐			
集計				
工種別評価値				
—				

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄	⑩ 電線共同溝工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td></tr> <tr> <th>工種別評価値</th> </tr> <tr><td>—</td></tr> </tbody> </table>	対象	評価	☐	集計		工種別評価値	—	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歩道及び車道の舗装（含、仮復旧舗装）の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 2. プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 3. 施工管理記録などから、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 4. 関連する付属構造物・施設の据付等仕上がりが良い。 5. 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <ol style="list-style-type: none"> a：該当項目が90%以上 b：該当項目が80%以上90%未満 c：該当項目が60%以上80%未満 d：該当項目が60%未満 <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値％は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 									
対象	評価																			
☐	☐																			
☐	☐																			
☐	☐																			
☐	☐																			
☐	☐																			
集計																				
工種別評価値																				
—																				

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ⑩ 維持工事 （清掃工、付属物工、除雪、応急処理等）	<table border="1"> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table>	対象	評価	☐	<table border="1"> <tr> <th>集計</th> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <th>工種別評定</th> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> </table>	集計		工種別評定	—	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 小構造物等にも注意が払われている。 きめ細かな施工がなされている。 既設構造物とのすりつけが良い。 安全性、維持管理等への配慮がなされている。 全体的な美観が良い。 <p><判断基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>									
対象	評価																			
☐	☐																			
☐	☐																			
☐	☐																			
☐	☐																			
☐	☐																			
集計																				
工種別評定																				
—																				

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																								
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄え ② 修繕工事 （橋脚補強、耐震補強、落橋防止等）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table>	対象	評価	☐	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>☐</td><td>☐</td></tr> </tbody> </table>	対象	評価	☐	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> きめ細やかな施工がなされている。 構造物の表面状態が良い。 端部の仕上げが良い。 既設構造物とのすりつけが良い。 全体的な美観が良い。 <p><判断基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																		
対象	評価																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
対象	評価																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
☐	☐																											
		<table border="1"> <tr><td>集計</td></tr> </table>	集計																									
集計																												
		<table border="1"> <tr><td>工種別評定</td></tr> </table>	工種別評定																									
工種別評定																												
		<table border="1"> <tr><td>—</td></tr> </table>	—																									
—																												

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄 ② 機械設備工事	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="430 256 483 290">対象</th> <th data-bbox="483 256 539 290">評価</th> </tr> <tr> <td data-bbox="430 290 483 323">☐</td> <td data-bbox="483 290 539 323">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="430 323 483 357">☐</td> <td data-bbox="483 323 539 357">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="430 357 483 391">☐</td> <td data-bbox="483 357 539 391">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="430 391 483 424">☐</td> <td data-bbox="483 391 539 424">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="430 424 483 458">☐</td> <td data-bbox="483 424 539 458">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="430 458 483 491">☐</td> <td data-bbox="483 458 539 491">☐</td> </tr> </table>	対象	評価	☐	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="490 592 533 619">集計</th> </tr> <tr> <td data-bbox="490 619 533 655"> </td> </tr> <tr> <th data-bbox="490 655 533 683">工種別評価値</th> </tr> <tr> <td data-bbox="490 683 533 719">—</td> </tr> </table>	集計		工種別評価値	—	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 機器のすえつけが適切になされている。 土木構造物、既設設備等とのとりあいが良い。 溶接、塗装、組立にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 操作、保安点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <ol style="list-style-type: none"> 該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満 <p><留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 工種別評価値（%）＝（評価数／評価対象項目数）×100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 											
対象	評価																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
☐	☐																					
集計																						
工種別評価値																						
—																						

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄え			
	② 電気設備工事 （照明設備・変電設備・その他類似工事含む）	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機器のすえつけが適切になされている。 2. 安全性の確保、環境、及び維持管理等への配慮がなされている。 3. 動作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 4. ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6. 全体的な美観が良い。
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）																	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="427 256 481 290">対象</td> <td data-bbox="481 256 539 290">評価</td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 290 481 323">☐</td> <td data-bbox="481 290 539 323">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 323 481 357">☐</td> <td data-bbox="481 323 539 357">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 357 481 391">☐</td> <td data-bbox="481 357 539 391">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 391 481 424">☐</td> <td data-bbox="481 391 539 424">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 424 481 458">☐</td> <td data-bbox="481 424 539 458">☐</td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 458 481 491">☐</td> <td data-bbox="481 458 539 491">☐</td> </tr> </table>	対象	評価	☐	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="488 592 539 625">集計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="488 659 539 692">工種別評価値</td> </tr> <tr> <td data-bbox="488 692 539 726">—</td> </tr> </table>	集計	工種別評価値	—	<p><評価対象項目></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がなされている。 2. 安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 3. 動作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 4. 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6. 全体的な美観が良い。 <p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上 b : 該当項目が80%以上90%未満 c : 該当項目が60%以上80%未満 d : 該当項目が60%未満</p> <p><留意事項></p> <p>(1) 「評価対象」欄のチェックボックスは、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 (2) 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 (3) 工種別評価値(%) = (評価数/評価対象項目数) × 100 工種別評価値%は、小数点以下を切り捨てし、整数とする。 (4) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>											
対象	評価																				
☐	☐																				
☐	☐																				
☐	☐																				
☐	☐																				
☐	☐																				
☐	☐																				
集計																					
工種別評価値																					
—																					

考查項目別運用表（土木工事編）

別紙1（検査職員）

考查項目	細 別	評価対象	評価	評価対象項目（工種別）
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来栄え			
	㊟ 上記以外の工事又は合併工事	対象	評価	<p><評価対象項目></p> <p>1. :理由: _____</p> <p>2. :理由: _____</p> <p>3. :理由: _____</p> <p>4. :理由: _____</p> <p>5. :理由: _____</p>
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		☐	☐	
		集計		<p><評価基準></p> <p>a : 該当項目が90%以上</p> <p>b : 該当項目が80%以上90%未満</p> <p>c : 該当項目が60%以上80%未満</p> <p>d : 該当項目が60%未満</p>
		工種別評価値	—	
				<p><留意事項></p> <p>(1) 主たる工種の考查項目で評価し、最大考查項目は5項目とする。</p> <p>(2) 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>